



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2016
1月号
No. 489

— 琳派降臨 —

近世・近代・現代の「琳派コード」を巡って

桃山時代後期に京都に誕生する「琳派」は、本阿弥光悦が元和元年（1615）に徳川家康から鷹峯の地を拝領した。その後「琳派」は各時代の美術や工芸の中で降臨するかのごとく、新たな継承と創造を繰り返してきた。今日においてもその造形美は、「よみがえり」と「新たな発見」を導入することで「琳派」なる世界を形成している。日本人の美意識のDNAに組み込まれた琳派の美のコードを探りながら、本展では近世・近代・現代における「琳派コード」を、「自然」「都市」「抽象」の観点から考えてみる。たとえば「自然」における琳派コードには、近世においては意匠や和歌の世界を根底に「啼く鹿」や「木付梅」そして「寄せる波」などのコードに現れてくる。これらのコードは、日本人の自然観察で削ぎ落としてきた美のエッセンスである。琳派の装飾美は、時代の、そして日本人の観念的造形美によって裏打ちされたものである。現代における自然を琳派はどのような「琳派コード」で表現しているのだろうか。歴史の中の「琳派コード」を洗い出し、今日の「琳派コード」を探る展覧会である。

と き／1月14日(木)～2月14日(日) 9:00～5:00PM

ところ／京都市美術館 (月曜休館)

京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4107



玉村方久斗 (1893～1951)「猫」
昭和初年頃 紙本彩色/軸装



福田美蘭 (1963～)「誰ヶ袖図」
1925年

新春特集陳列

さるづくし—干支を愛でる—

と き／1月2日(土)～1月24日(日) 9:30AM～5:00PM

ところ／京都国立博物館 (祝日以外の月曜と1/12休館)

京都市東山区東山七条 ☎075-541-1151



重文 巖樹遊猿図屏風 (部分)
式部輝忠筆

2016年の干支は申(さる)。これにちなんで、年末から新春にかけての京都国立博物館では、猿を描いた絵画や、猿をモチーフにした工芸品をご紹介します。ニホンザルは、古くより日本人にとって身近な動物でした。そのため、さまざまな文化と深い関わりをもち、多くの作品にその姿が表されてきました。江戸時代には、伊藤若冲、曾我蕭白、長澤蘆雪といった錚々(そうそう)たる絵師が個性豊かな猿を描いています。とくに今回の展示では、生命感あふれる猿の姿を描き出し名手と謳われた森狙仙(そせん)の作品もご覧いただけます。さらに、日本では見ることが難しかったテナガザルのほほえましい姿を描いた中世水墨画の名品や、物語に猿が登場する絵巻物、斬新なデザインの根付などが一堂に会します。日本や中国において親しまれてきた猿の多彩なイメージをぜひお楽しみください。

会場	日曜	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		全館休館																								第5回 コレクション展	→3/27					
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	休館	新春特集陳列 さるづくし—干支を愛でる— (～1/24) 特集陳列 獅子と狛犬 (～3/13) 特集陳列 刀剣を楽しむ—名物刀を中心に— (～2/21)																														
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター設立35周年記念 和魂漢才—京都・東アジア「交流」の考古学— (～1/11) 博学社連携のとりくみ 文博界隈の歴史と文化 (1/16～2/21) 祇園祭—木賊山の名宝— (～1/24) 祇園祭—山伏山の名宝— (1/30～4/10)																														
	3F	日本のふるさと 大丹後展																								播磨400年記念 京都府美術館 工芸新観展	→2/14					
	4F	小川千甕展—縦横無尽に生きる																														
	5F	新春書芸展														第28回京都美術文化賞受賞記念展 (18日休室)										画集刊行記念 マシラ(日本猿) 藤井勘坊展 京都現代書芸展					→2/3	
6F	新見書初展								匠・夏美会 加賀友柳 ルネッサンス								京都教育大学 書道研究室 作品展								講演会 音楽会							
別館															音楽会																	

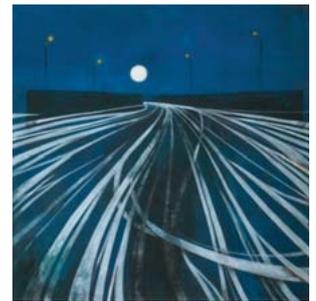
竹村寛来 膠彩画展

と き / 1月6日(水)～1月24日(日) 11:00AM～7:00PM
と ころ / 画廊後素堂 (会期中無休)
京都市中京区新町通丸太町下ル ☎075-231-0938

「去来する燐光」

夜の中を通り抜けてゆく光
走り去った光の痕が描き出す道
そこは記憶の在処
記憶が 未生の彼方から到来し終焉の闇に
退いてゆく東の間の道程
儂いその経路を 光たち 記憶たちは
灯の残り時間を刻みながら駆けてゆく

—TEXT: ギャラリー創治朗 二見正大—



細密美！ 明治のやきもの 幻の京薩摩

と き / 1月2日(土)～1月31日(日) 10:00AM～8:00PM
と ころ / 美術館「えき」KYOTO (会期中無休)
JR京都駅ビル (JR京都伊勢丹7F隣接) ☎075-352-1111

かつて京都で「京薩摩」という焼き物が作られていたことをご存じでしょうか。その名の通り、鹿児島で作られ海外で人気を博した本薩摩の流れを汲むもので、当時、明治政府の輸出入製品の花形でした。東京や横浜、大阪をはじめ神戸でも薩摩焼の様式を取り入れた焼き物が盛んに作られていましたが、なかでも、京都・三条粟田口の窯で焼き上げられた京薩摩は、一時は本薩摩の生産量を超えるほど製作され、その繊細で雅な美しさで人々を魅了しました。

本展では、清水三年坂美術館所蔵の数ある珠玉の作品の中から、日本特有の繊細で豪華な装飾がほどこされた薩摩焼に注目し、さまざまな地域で製作された薩摩焼をご紹介しますとともに、独自の様式を展開した京薩摩の魅力に迫ります。わずか数十年の間だけ作陶された幻の京薩摩。「美」と「技」が凝縮された絢爛豪華な世界をお楽しみください。



ちらし複写



トーマス・ピ・ブロー 「花蝶図輪花皿」
直径 27.6 cm



錦光山 「花鳥図六角花瓶」
高さ30.2 cm

忘れられた画家シリーズ③ 小川千麿遺作展

と き／1月8日(金)～1月30日(土) 10:30AM～6:00PM
ところ／星野画廊(日曜・月曜休廊)
京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

現在「小川千麿一縦横無尽に生きる」展が京都文化博物館で1月31日まで開催中です。これまで脚光を浴びる機会に恵まれなかった異色の日本画家の大規模な回顧展。福島県立美術館と東京の泉屋博古館での巡回展示を終えてようやく故郷への凱旋展として戻ってきました。是非ご覧頂きたくご案内申し上げます。同展には星野画廊コレクションから6点の作品と資料の出品協力をしています

また当画廊のコレクションには、小川千麿が師事した浅井忠の同門下で、陶芸家に転じた新井謹也旧蔵の9点を含め、約30点の小川千麿作品があります。この機会に忘れられた画家シリーズ③として小川千麿遺作展を開催します。ご高覧くださいませ。

小川千麿 おがわ・せんよう／ちかめ

- 1882(明治15)年 京都市に生まれる。本名多三郎。生家は老舗の書肆で、若くして教養を身につける。
- 1897(明治30)年 仏画師北村敬重の徒弟となる傍ら、関西美術院で浅井忠に洋画を学ぶ。
- 1910(明治43)年 上京し、挿絵画家の道を進み、『ホトギス』の挿絵も描く。
- 1913(大正2)年 渡欧する。
- 1914(大正3)年 帰国する。第1回二科展に入選する。
- 1915(大正4)年 平福百穂、小川芋銭らと『珊瑚会』を結成し、次第に南画家への道を進む。
- 1921(大正10)年 再興第8回院展に入選する。日本南画院展に出品する。
- 1942(昭和17)年 大東南宗院委員となる。
- 戦後 主に個展を中心に作品を発表する。
- 1971(昭和46)年 没。享年88。詩歌や書にも優れ、島木彦彦に学んで『アララギ』に短歌を寄せた。



「蜜柑山」
1933(昭和8)年頃
紙本／軸装・共箱



「白衣大士」
紙本／軸装



「福祿寿星」
1952(昭和27)年
紙本／軸装・共箱



「漁翁」昭和初期頃
(新井謹也旧蔵品／絹本軸装)
紙本・軸装



「万葉歌画賛」
(新井謹也旧蔵品／絹本・軸装)
紙本／軸装

企画展「美を創る」京都市立芸術大学コレクションを中心に 前期展：美術教育を支えた教員達の作品

と き／1月5日(火)～1月31日(日) 9:30AM～5:00PM
ところ／京都府立堂本印象美術館(祝日以外の月曜と1/12休館)
京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

堂本印象美術館では、年に一回のペースで京都における美術教育を見つめ直す展覧会を企画しています。今回は京都市立芸術大学をとりあげます。京都市立芸術大学は、明治13年に開校した我が国で最も古い芸術系大学です。伝統と革新の二面性を有する京都特有の風土のもと、自由な学風を持ち、芸術研究と創造的活動の場として今なお重要な役割を担っています。同大学の130有余年の歴史を紐解くと、京都府画学校として誕生し、京都市立美術工芸学校、京都市立絵画専門学校など、名称を変えながら、近代京都画壇のみならず、京都の伝統産業の発展にも深く関わってきました。戦後は総合芸術大学として、日本画はもとより、洋画、彫刻、工芸の分野においても優れた人材を輩出してきました。今回、京都市立芸術大学芸術資料館の所蔵の名品を通じて、近代日本画の足跡をたどる展覧会を前期と後期、それぞれテーマを変えて開催いたします。

前期では、教員ゆかりの作品を展示します。長い歴史をもつ教員陣のなかには、文化勲章受章者をはじめ近代の日本美術を代表する作家が数多くいます。今回は日本画のみならず、洋画、工芸分野で活躍した教員の作品についても展覧し、充実した教育環境をしのびます。

後期では、日本画卒業生に焦点を当て、土田麦僊、村上華岳ら京都画壇を代表する画家のほか、将来を期待されながらも夭逝した画家や、これまであまり注目されてこなかった画家の作品も展覧します。

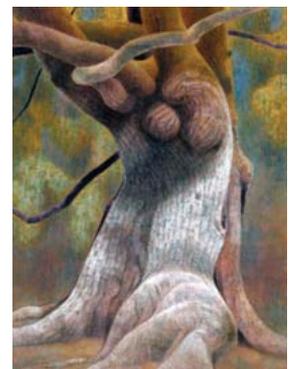
また同時に、京都市立絵画専門学校卒業生で教員でもあった堂本印象の作品の中から、学生・教員時代に描いた写生や下絵のほか、印象が京都市立芸術大学へ寄贈した古美術(陶俑)を特別に展示し、京都市立芸術大学と印象との関係を振り返ります。



須田国太郎「走鳥」
1953年 油彩



入江波光「十二天像水天像模写」
1912年



山口華揚「樹」
1963年

新旧作品による 上田泰江の画業展 ～時空を超えて～

と き／1月10日(日)～1月23日(土) 10:30AM～6:30PM
 ところ／蔵丘画廊(会期中無休)
 京都市中京区御池通寺町東入 ☎075-255-2232

感じる心

美術作品の前に多くの日本人は「よくわからん」という。
 美術の専門教育を受けていないからであるとの思いがそう言わすのでしょうか。

上田泰江の仕事はまさに『よくわからない』ものが描かれている。思わずそこに何が描かれているのか求めてしまう。しかしほとんど解明できないままにそこに在る。元もと美術というものは分かっていくものではない。もし甲乙を付ける場合も、本来はそれを分別するのは神の裁量によるしかない筈。幼子が数分で描く絵にミロを見出し、アール・ブリュットの絵画にクレーをはじめ多くの歴史的大作家が影響を受けていることはよく知られた事実。



「コンポジション(1)」12F

結果は似ていても、独自の画風を展開させ、比類なき厚みとしていく。その業績を社会がどのように抱き上げ、良い絵(時代の歴史として、分かった)とするか、ひとえに同時代を生きる鑑賞者側に委ねられている。

時代の代弁者の仕事を、単に『上手』とか『暗い』という物差しや、制作時間がその判断の左右となることがあってはならない。なぜならそれは職人の産物ではないのだから。上田の仕事は筆の冴えを感じる『上手さ』や『明るい、暗い』も意中しない。さらにフォルムが優先するでもなく、色彩の強さ、筆の擦れたマチエールも特段の主張がないことに気付く。

美術を司るこれらの要素が混沌としつつ、画面から浮かび上がる音楽のような味わいそのものの絵画。『わからない』ことが許せる。多くのものにとらわれて物事を判断してきた枠が外れ心地よい。この純粹美術との出会いに感謝したい。



「ようこそ」 48.5×27.3cm



「焼きもの」 SM

縦横無尽に生きる・小川千甕展

～彼は、仏画師・洋画家・漫画家・日本画家だった～

と き／12月8日(火)～1月31日(日) 10:00AM～6:00PM
 ところ／京都文化博物館(1/11以外の月曜と1/12、12/28～1/4 休館)
 京都市中京区三条高倉 ☎075-222-8183

小川千甕(1882～1971)は、明治末期から昭和期までの長きにわたって、仏画師・洋画家・漫画家・日本画家として活躍した画家である。京都市中京区六角麩屋町の書肆「柳枝軒」の家に生まれた千甕は、少年時代は仏画師のもとで修業。その後、入洛した浅井忠に弟子入りし洋画を学ぶ一方、新感覚の日本画も発表し始める。同じ頃、京都市立陶磁器試験場の絵付け技手となったことをきっかけに「千甕」(せんよう)の雅号を用い、俳画や挿絵の画家としては「ちかめ」の名でも親しまれた。明治末、28歳で東京へ越し、『ホトトギス』などに挿絵、漫画を発表して人気を博した。さらに1913(大正2)年には渡欧し、印象派の巨匠ルノワールにも会っている。帰国後は日本美術院に出品し、本格的な日本画家として活躍した。戦後は個展活動により作品を発表し、晩年には富岡鉄斎を思わせるダイナミックな筆遣いの南画(文人画)で愛された。

本展は、千甕の初期から晩年に至る仏画、洋画、漫画、日本画約140点とスケッチブック、工芸などの資料を一堂に展示し、その芸術を紹介する初めての回顧展である。



「そう畔」
1922(大正11)年



「自画像」
1969(昭和44)年 第2回米寿展



第9回再興院展
「炬火乱舞」
1930(昭和5)年
第17回再興院展



「甲州路」
1911(明治44)年

齋藤眞成展

と き／1月12日(火)～1月24日(日)
ところ／ギャラリー Create 洛 (月曜休廊)
京都市中京区丸太町堺町角 ☎075-708-7898

齋藤眞成先生の作品は万物に対する「慈愛」に満ち溢れ、大いなる「自由」が貫かれています。それは「虚と実」「生と死」観を孕みながら境界なく大胆に宇宙的な広がりを見せて、見る者に生きることの何かを問いかけているように思えます。例えば「月下」の僧と鳥の語らいや「母子」の子どもに向ける母親の視線などからも、ユーモアにも見える「包容力」と、揺るぎない「慈愛」の浸透があり、万物に対する「賛歌」を感じます。真如堂の貫主など、僧と画業の二足のわらじを貫かれた先生は、今年齢99歳を迎えます。鋭い視点と感性はなお健在です。弊廊では油彩画など25点を展示いたします。慌しさを感じる現代社会で大切な何かを見失いがちですが、その何かを、齋藤眞成先生の作品から感じ取って頂けましたら幸いです。



齋藤眞成先生 経歴

- 1917 名古屋市生まれ
- 1940 龍谷大学文学部仏教学科を卒業 太田喜二郎に師事
- 1952 行動美術協会会員推挙
- 1961 パリを中心にヨーロッパ11カ国を巡遊、現代美術の状況及びその源流を視察
- 1965 京都教育大学特修美術科教授(～70)
- 1967 京都市美術館にて「秋野不矩・齋藤眞成展」
- 1972 朝日新聞連載小説 田辺聖子「すべてころんで」の挿絵を担当
- 1978 FIAC78パリ個展(1982も)
- 1986 パリ、ブリュッセル、京都府企画京都府ギャラリーにて個展
- 1987 第5回京都府文化賞功労賞受賞
- 1988 京都市文化功労者表彰
- 1989 ニューヨーク、アントワープにて個展
- 1993 龍谷賞受賞(龍谷大学)
- 1994 山形美術館、致道博物館(山形県)、徳島阿波之里にて個展
- 1995 行動美術協会退会
- 1997 国立国際美術館(大阪府)にて個展 第10回京都美術文化賞受賞
- 1999 真如堂第53世貫主に就任
- 2004 京都府文化賞特別功労賞受賞
- 2013 佛心の造形 齋藤眞成展 京都文化博物館、山形県郷土館
- 2014 「ある日の幻妖 齋藤眞成展」京都市中信美術館

ギャラリー create 洛

e・g・g・o 0051 浅井文昭展

と き／1月21日(木)～1月30日(土) 10:00AM～6:00PM
ところ／大雅堂／1F展示室(会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

この度、「e・g・g・o 0051 浅井文昭展」を開催致します。心から湧き出してくる衝動、感情をダイレクトに描く浅井先生。

今回の個展では点描画に挑戦されます。多彩な作品を是非この機会にご高覧下さいませ。

〈日頃の制作モチーフ・コンセプト〉

心から湧き出してくる形、色をそのまま絵画に表現している。

〈作家コメント〉

作品一つ一つに何かを感じていただければ幸いです。



Green & Black 10F



Yellow & Black 10F

浅井文昭 略歴

1987年 愛知県に生まれる
現在、滋賀県在住

【個展】

- 2013年 F.A.F.A展／caf  & galleryキマッシ (滋賀)
『Viva La art』／ファブリカ村 (滋賀)
- 2014年 浅井文昭展／The Artcomplex Center of Tokyo (東京)
FUMIAKI ASAI展／おとくら (滋賀)
e・g・g・o 0043 浅井文昭展／大雅堂 (京都)

【グループ展】

- 2013年 県造形集団第39回造形展／滋賀県立近代美術館 (滋賀)
- 2014年 アートフェア鳥根／竹下成果工場 (鳥根)
MOVE展 in Teltow 〈日独交流巡回展〉／鎌倉芸術館 (神奈川)

- 2015年 国際インパクトアートフェスティバル／京都市美術館 (京都)
2015CAF.Nびわこ展／大津市歴史博物館 (滋賀)

【海外出展】

- 2013年 Salon ARTSHOPPING／ルーブル美術館 (フランス)
MOVE展 in Berlin／Gallery DEN (ドイツ)
- 2014年 Spectrum Miami Art Show 2014／(アメリカ)
Salon ARTSHOPPING／ルーブル美術館 (フランス)
POP JAPAN vol.4／ME AND ART GALLERY／(オーストラリア)
MOVE展 in Teltow 〈日独交流巡回展〉／テルトウ市庁舎新館 (ドイツ)
- 2015年 FUMIAKI ASAI Solo Exhibition／Ouchi Gallery (アメリカ)

		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
会場		日曜		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
企	画廊 きよみず	日本画常設展																																
東山区清水五条坂 525-2062																																		
企	画廊 後素堂	竹村寛来彫彩画展 (会期中無休)																																
中京区新町丸太町下ル 231-0938																																		
企	画廊 彩雲	冬期休廊										展示休廊 (土日祝休廊)																						
宇治市折居台1-4-40 23-1468																																		
企	画廊 たづ	冬期休廊										日本画常設展																						
東山区神宮道三条西入ル 771-8225																																		
貸	画廊 ビーナス																																	
三条大橋東一筋目上ル東 771-3104																																		
貸	ぎおんギャラリー八坂	洋服とアクセサリ 廣瀬光美 (不定休)															4名による平面・アニメーション作品展 京都造形芸術大学					布・服・帽子・他 墨・和紙等を使った作品展 小泉博美・関本明子												
東山区祇園町南側 525-1717																																		
貸	ギャラリーM	正月休廊					京の正月風景展 (松本祐佳)										ドイツ、ポツダム、ベルリン旅展 (松本祐佳)																	
中京区蛸薬師高倉西 221-0979																																		
貸	ギャラリーカト	冬期休廊										洋画グループ21世紀展					岩田功個展																	
中京区寺町御池下ル 231-7813																																		
企	ギャラリーかもがわ	休廊		神門やす子 墨と遊ぶXI (火曜休廊)					はつはるすえひろ展 (火曜休廊) 一花 林田隆 瀬和居孝一 藤原真知子 反田充 まりこばこ 中村美知生 依田美砂子																									
上京区堀川出水西入 432-3558																																		
貸	ギャラリー祇園小舎						初春展 福井泰三 陶・画					偶然の出会い じゃない 二人の写真展					中嶋紫都 作品展																	
東山区四条通糺手東入 551-3828																																		
貸	ギャラリー吉象堂																																	
中京区三条柳馬場東 221-3955																																		
貸	ギャラリー Create 洛	冬期休廊										齋藤真成展 (洋画)										塚本裕子展 (平面・立体)												
中京区丸太町通堺町角 708-7898																																		
企	ギャラリー K	常設展 (貸画廊受付中)																																
中京区寺町二条下ル西側 255-7518																																		
貸	ギャラリー 恵風	冬期休廊										仁尾敬二展 (テキスタイル) (月曜休)										佐々木真士展 (平面)												
左京区丸太町東大路東入 771-1011																																		
貸	ギャラリー 佐野	冬期休廊										展示申込受付中																						
中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767																																		
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
会場		日曜		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
企	ギャラリー三条祇園																																	
中京区寺町通御池上ル 221-6401																																		
企	ぎやらりい 思文閣	常設展																																
東山区古門前大和太路東 761-0001																																		
企	ギャラリー 白川	冬期休廊																				常設展示												
東山安井東一筋目南 532-2616																																		
貸	ギャラリー 翔	冬期休廊										アートふくろう展 (絵画・陶芸・木工・ガラス他) (無休)										春が来た! (花、木工、アクセサリ、おひなさま他) (25日休廊)												
左京区北山通下鴨中通東 724-8154																																		
貸	ギャラリー 16	冬期休廊										岸田良子展「TARTANS」(平面) (月曜休廊)																						
東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238																																		
企	ギャラリー 創	常設展 伊藤若冲、白隠、曾我蕭白、鴨居玲、熊谷守一																																
中京区河原町御池上ル 251-0522																																		
貸	ギャラリー 象鯨	常設展 (貸ギャラリー受付中)																																
中京区姉小路柳馬場東 253-0738																																		
貸	ギャラリー 高倉通											花園ゆかり展 「新春夢劇場」					貸画廊予約受付中																	
中京区高倉姉小路下ル 221-3390																																		
貸	ギャラリー Little House	貸ギャラリー受付中																																
下京区室町四条下ル 090-9977-1559																																		
企	ギャラリー 鉄齋堂	冬期休廊					常設展 (近代作家の軸装・額装) (6・9・18・19・28・29日休廊)																											
東山区新門前東山西 531-6164																																		
企	ギャラリー 知 (とも)	冬期休廊																				京都精華大学 日本画わかば展												
中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160																																		
企	ギャラリー なかむら																																	
中京区姉小路河原町東 231-6632																																		
貸	ギャラリー 中井	貸画廊受付中																				京都府私立中学高等学校 美術・工芸研究会 会員作品展												
中京区木屋町三条上ル 211-1253																																		
企	ギャラリー 白梅園	白崎信子ガラス 作品・常設展																																
北区北野上白梅町G3 461-0427																																		
貸	ギャラリー ヒルゲート	新春休廊										新春企画・第24回折々の作家たち展 (約90人の作家の平面・立体作品) (月・休)										管井滋円作品展 (油・水彩)												
中京区寺町三条上ル 231-3702																																		

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
				金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
企	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	冬期休廊					日本画常設展																												
	GALLERY FUKUMI SHIMURA 左京区岡崎神宮道西側 746-3303	志村ふくみ・洋子 作品常設展																																	
貸	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	冬期休廊					DON-RIM CHANG 陶										第9回Gen展(平面・立体) 京都造形芸術大学 総合造形コース3回生展										U.S.E展(立体)							
		4F																																	
		5F																																	
貸	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	翔の会										水曜会																							
企	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	冬の装展 阿久津葉穂子…カシミアニット 吉川恵子…アクセサリ クリ・ボテラ…タイツ・ストール (月曜休廊)																										冬期休廊							
企	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	酒器百撰					陶芸作品常設展示																												
貸	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	常設展(水曜休廊)																																	
企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	年始休廊					常設展(水・日曜休廊)																												
企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	冬期休廊										常設展(日・祝・月休廊)																→2/10							
貸	ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	新春絵画・ 工芸品処分市					絵画・工芸在庫処分 (18、25休廊)																												
貸	ギャリエ ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館	1F	貸画廊受付中																															
			2F	〃																															
		2号館	1F	貸画廊受付中																															
			2F	〃																															
貸	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中																																	
企	京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 334-2204	休館					House of day, House of night (昼の家、夜の家) 成果発表展 「FEATHER」成果発表展																										→2/7 →2/7		
企	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000																																		
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
				金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	日	火	水	木	金	土	日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	休館					京都における特別支援教育のあゆみ (水曜休館)																										→3/29		
企	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	睦の器展(木曜休館)										常設展(木曜休館)																						
		2F	常設展(木曜休館)																																
貸	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	休館					etoteグループ展 イラスト等										姉妹展 やすひらきよみ さくまようこ (描き続けて65年)																		
企	COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	1F	常設展示(不定休)																																
貸	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	1月24日：映画、1月30日：お話(詳しくは画廊HPをご覧ください)																																	
貸	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																																	
企	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	冬期休廊					常設展					上田泰江展(会期中無休)										休					常設展(日・祝休廊) 蔵丘洞ノ棚コーナー						→2/5		
企	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	冬期休廊					常設展(コンセプトチュアルリズムアート) (日・祝休廊)										e.g.g.o 0051 浅井文昭展(会期中無休)										休廊								
企	梅軒画廊 中京区烏丸四上ル 221-3510	冬期休廊					日本画・洋画 常設展(日祝休廊)																												
貸	ポルタギャラリー華 新庄辛子染色展 新庄文明陶展 下京区京都駅前地下街 365-7533						佐和賢爾光画屏風展										新鋭日本画三人展																		
企	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670											忘れられた画家シリーズ㊦ 小川千麿遺作展 (日曜・月曜休廊)																							
企	松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626	休廊					新古書画展示即売(16日・月末休廊)																										休廊		
貸	まるごのギャラリー 中京区姉小路寺町東入 744-0105	木版画常設																																	
企	村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	冬期休廊					常設展(火・祝休廊)																												
貸	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341	貸ギャラリー受付中																																	

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>